



3月園だより

令和5年3月1日
第三ひもんや保育園園長

1年のまとめの時期になりました。すべてのクラスが無事に懇談会を終えることができました。お忙しい中、ご参加頂きありがとうございました。懇談会翌日の連絡ノートには“それぞれのご家庭の様子を知る事が出来、皆同じなのだと安心しました”“先輩お母さんからのアドバイスが勉強になりました”“育児の原点に戻る事が出来ました”等の感想を頂戴し、保護者の方々と職員とが共に悩みを分かち合いながら、子どもたちの成長を喜び合う貴重な時間となりました。また今回はインフルエンザ感染症が流行してしまいご迷惑おかけし、大変申し訳なく思っております。懇談会に参加できなかった保護者の皆様も多数おりましたので、会の中で使用しました子どもたちの日常の様子をポートフォリオにさせて頂きました。是非ご覧頂けたらと思います。先月行われた街ごっこでは、乳児クラスとの異年齢での交流も再開し、大盛況でした。「もうすぐ、映画館が始まりますよ〜」「いらっしゃいませ〜こっちはいま空いていますのでどうぞ」と張り切る姿が見られました。小さいクラスの子どもたちも目を輝かせて買い物や映画館、トロッコ列車などを楽しんでいました。会が終了し、乳児クラスを覗くと買った商品で再現遊びを楽しむ姿が見られました。異年齢保育の中でも、こうした実体験の積み重ねが子どもの学びに繋がっていく大切さを改めて実感しました。今年度も子どもたちと明るく・楽しく・元気に過ごす事が出来ましたのも、保護者の皆様のご協力とご理解があつての事と深く感謝申し上げます。本当にありがとうございました。今月も子どもたち一人ひとりに気を配りながら、進級・入学に向け保育をしていきたいと思ひます。

3月の予定

卒園式（5歳児）

お別れ遠足（3・4・5歳児） すずめのお宿緑地公園

身体計測 中旬（全園児）

5歳お別れ遠足（5歳児） 林試の森公園

避難訓練 中旬（全園児）

移動日

お別れ会（全園児）



子どもとの関わりを通して ~副園長~



「きっかけづくりから」

ある日、園庭で包帯を使って“くもの巣”という遊びをしかける事にしました。まず、タイヤを3つ重ねていき間隔を空けて円を作っていると、2歳児クラスの子どもたちがやってきて「先生何してるの」「一緒にやりたい」とタイヤを重ねるのを手伝ってくれました。重ね終えて包帯を出しタイヤに挟み、ランダムに絡めていくと「やってみたい」との声が聞かれ、子どもたちに包帯を持ってもらい、伸ばしていきたい場所へと進んでいきます。途中、包帯が足りなくなり「包帯が届かないね。どうしようか」と声を掛けてみると1人の子が「こっちと結べばいいんじゃない」とアイデアを出してくれ、繋げる事に成功しました。出来上がると子どもたちは、潜ってみたり跨いでみたりして、包帯越しにお店屋さんを始めたりと思い思いに遊び始めました。その時の子どもたちの表情は生き活きとしていました。後から、園庭に出てきた4歳児クラスの子どもたちも“くもの巣”を見て「これやりたい」と目を輝かせ、同じように潜ってみたり跨いでみたり、ジャンプしてみたりしていました。遊んでいく内に「ここをゴールにして、この包帯に触らないように行けたら、金メダルがもらえるよ」とゲームを考え出し、遊び始め楽しんでいました。考え出したり、やってみたいという子どもたちの思いを大事にしてきたことで、色々な遊びが生み出されるのだと感じます。これからも、子どもたちの遊びが発想豊かになり「楽しい」と思えるような“きっかけづくり”を職員と共に充実させていきたいと思ひます。





こんなに大きくなりました



～乳児クラス～



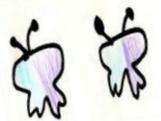
ありんこ組（0歳児クラス）

子どもたちは自分から好きな玩具のところへ行って触ったり、入れ物に入れたり、積んだりして遊ぶようになりました。歌遊びも好きで、保育士の歌う馬の歌が聞こえると、その場で体を上下に揺らしたり、保育士の膝に乗りに来てぱっかぱっかと上下に揺らしてもらうことを楽しんでいます。また、手の中に布を入れて「にぎりぱっちりたてよこひよこ」と歌いながら布が出てくる遊び歌があるのですが、保育士が遊ぶ姿を見てきたからか、今では子どもが自分で布を出してきて手の中に入れて“うたって”と保育士が歌うのを待っています。保育士と一緒に触れ合い遊びをする中で、歌を楽しみ、自分でやりたいことを表わすようになっていく姿に成長を感じています。



ちょうちょ組（1歳児クラス）

段ボールの仕切りのお家の中で、くまのぬいぐるみのお世話遊びをしていた友達の姿を見て楽しそうに感じたようで「〇〇ちゃん」と名前を呼んでお家の中に入ろうとしています。その姿に気付いた保育士が「一緒に遊びたいのね」「入ってもいいって聞いてみようか」と声を掛けると「(入っても)いーい」と聞いています。「はーい」とお家のドアを開けてもらうと、嬉しそうに中に入り、ぬいぐるみに「どうぞ」とごはんを食べさせてあげたり「おいしいね」と2人で顔を見合わせてごはんをもぐもぐと食べていました。身近な友達に親しみを持って関わり、同じ遊びを楽しんだり、自分の気持ちを言葉で伝えようとする姿に成長を感じています。



てんとうむし組（2歳児クラス）

最近好きな遊びの一つにかるた取りがあります。札をじっと見つめる様子は真剣そのものです。読み上げると一気に「はいっ」という声と共にかるたに飛びついていきます。取れた時はもちろん大喜びですが成長を感じるのには取れなかった時の方です。一瞬の差で取れなかったことを心から悔しく思いながらも、『次はがんばるぞ』と感じているかのような、きりりとした表情で次の札に気持ちを向けています。一人の子だけではなく多くの子がこのような姿を見せてくれたことに驚きました。悔しくて怒ったり、泣いたりこの一年間でたくさんの思いを表現してきたことで、遊びの中で次の楽しみに気持ちを向けることも出来るようになった姿に成長を感じています。





みつばち組（3歳児クラス）

街ごっこの準備を進めていく中で「レジも必要だよ」「エレベーターもあるよ」と、どんどんと自分の経験を取り入れてみつばちマーケットを豊かにしようとしていました。また、一人ひとりが好きな商品を作ったり、友達の作っている姿や物に関心を持って「ケーキ、美味しそうだね」「クッキーかわいいね」「おもちゃ、いっぱい作ったね」「一緒に作ろうか」と、認め合ったり助け合う姿がたくさん見られました。“みつばちマーケット”の中では「ピザにチーズがいっぱいかかってますよ」「おいしいお寿司もありますよ」とお店の人になりきって楽しんでいました。自分の好きな事を楽しみながら、友達と関わったり同じイメージを持って遊びに向かう姿に成長を感じています。



とんぼ組（4歳児クラス）

卒園するかぶとむし組さんに贈るプレゼントを作った時のことです。まずはフォトフレームの色を決めるのですが「何色が好きか聞いてくる」と、自分のペアの子の所に聞きに行く子がいました。他の子たちもかぶとむし組の部屋に行き、送る相手の好きな色を聞いてきて塗り始めました。次に、紙の飾りを貼っていくのですが「〇〇ちゃんかわいいのが好きって言ってたから全部お花にする」「ヒーローの色と同じ赤い星をつける」と、相手が喜んでくれるデザインにしようと思いを巡らせながら作る姿が多く見られました。自分の好みではなく贈る相手の事を考えて一生懸命作る姿に、相手の事も思いやれるようになった心の成長を感じています。



かぶとむし組（5歳児クラス）

街ごっこの取り組みでは、1から子どもたちがどのような事をやるのか話し合っただけで進めてきました。トロッコ列車で出会える犬を作っていた時、平面にするか、立体にするか、どんな素材で作るのかを話し合っていました。「段ボールで作ってみる」「顔は別に作って付ければいいのか」など意見を出し合ったり、回転寿司では机の上でどう段ボールを回すようにするのか、穴を開けて棒を入れたり、間に箱を挟んだりする等、試行錯誤しながら作っていきました。当日は、友達と一緒に接客をしたり、異年齢交流でお店を回ってとても楽しんでいました。様々な行事や毎日の遊びの中で子ども同士で意見を出し合ったり、協力して乗り越えていく経験を通して友達との関係がより深まっていました。仲間と一緒に様々な事を乗り越えてきた経験を力に変えて、小学校へ行ってもまた新しい友達との出会いを楽しんでくれると思います。

